



# 目次



はじめに

01

ブレイキの壊れたルノーで調査!  
カメルーン北部の半乾燥地における地質と住居の建て方の関係とは? (1999年)

010

02

ザンジバルの美しい珊瑚礁と世界遺産の旧市街地はかつて奴隷貿易の拠点だった  
イスラーム信仰と地域社会をザンジバル(タンザニア)で探る (1992~2023年)

033

03

昼は熱々、夜は寒い。ナミブ砂漠の満天の星の下での晩酌は最高だ!  
ナミブ砂漠に生育する植物やその生態、それを取り巻く住民生活を探る (2001年)

052

04

テント・冷蔵庫付きの四輪駆動車でナミビア全土を駆け巡る  
初めて科学研究費を獲得してナミビアで研究プロジェクトを始める (2001年)

091

05

日中の砂丘の地表面は熱したフライパンのようだ  
クイセブ川の環境変遷を探る (2001年)

105

002

06

イスラーム指導者のマラブーはまるで芸能人のようだ  
イスラーム信仰と地域社会をセネガルで探る（2001年）

113

07

ナミブ砂漠の涸れ川沿いの河畔林が大量枯死しているのはなぜ？  
大学院生たちとの「ケニア縦断の旅」とナミビアでの調査地探し（2002年）

120

08

ゾウの鼻で身体を吹き飛ばされても調査を続ける院生  
ナミブ砂漠で砂漠ゾウの調査に挑む（2004年）

147

09

よちよち歩きのパenguinを見ながら自転車をこいで喜望峰へ  
ケープタウンの特異な植小区系界を調査する（2004年）

156

10

窓がなく、ネズミが走り回る石造りの家を借りて調査する院生  
南アフリカ共和国の中にある小さな山岳リゾートでの調査（2005年）

168

11

ヤギ放牧とシロアリ塚の不思議に迫る  
院生たちの調査地探しでナミビア全土を回る（2006年）

179

12

夏は土砂崩れ、冬は積雪と格闘しながら車で山を登る  
ヒマラヤの神秘の大地アルナーチャルで調査を始める——森林とヤク放牧（2007～2009年）

190

13 点在するゾン（城塞）の設立の謎に迫る  
ヒマラヤの神秘の大地アルナーチャルでの調査（2010年）

14 少年を生け贄にして悪霊に捧げる儀式とは？  
ヒマラヤの神秘の大地アルナーチャルでの調査——精霊崇拜とボン教、チベット仏教（2011年）

15 ブリザードで立ち往生、インド軍に救出される  
ヒマラヤの神秘の大地アルナーチャルでの調査——トイレのしくみ（2013年・2017年）

16 湖沿いの細長い国マラウイは道路を横断すれば隣国だ  
マラウイの亜熱帯疎林ミオンボ林での調査（2007年）

17 炎天下のイスラーム世界の神秘とネームタグが生んだ奇跡  
イスラーム信仰と地域社会をチュニジアで探る（2008年）

18 冷たいビールを飲むために毎日隣国まで買いに行く  
ギニアの熱帯林でチンパンジー、植生、土壌の調査（2009年）

19 温暖化で山を登る可憐な永久花を見つける  
ケニア山・キリマンジャロでの調査（2009年）

20

人と文化がカヌーで長距離伝播していった太平洋の島々  
太平洋諸島（タヒチ、ラパヌイ、パラオ）での調査（2011年・2012年）

319

21

高山病と交通渋滞に悩まされながらアンデスの氷河に通う  
再びアンデスで調査する——氷河と植生とリヤマ・アルパカ放牧（2012～2014年）

333

22

ナミブ砂漠に自生するナラメロンの種子の価格が高騰！  
ナミビアで院生たちの調査地を探す（2012～2014年）

357

23

ASAFAS から文学研究科に異動し、ケニア山で研究プロジェクトを開始する  
再びケニア山に登る——院生の初めての調査（2015年）

370

24

ナイロビ最大の人口100万人以上のスラムには公立学校が1つもない  
ナイロビのスラム街の変化と学校教育を考える（1998年・2002年・2015年・2022年）

380

引用・参考文献

387

おわりに

397